

一般質問通告書 6月議会

令和6年6月6日

| 番号 | 件名 | 氏名 |
|----|---------------------------|-------|
| 1 | 上関町に中間貯蔵施設が本当に必要か検証を | 清水 康博 |
| 2 | 上関町出身者のUターンを増やす取り組みについて | 清水 康博 |
| 3 | 紙の健康保険証の廃止、町民への影響を最小限に | 山戸 孝 |
| 4 | 中間貯蔵施設計画、町民への説明責任をどう果たすのか | 山戸 孝 |
| 5 | 定住対策のビジョン | 秋山 鈴明 |
| 6 | 将来世代へ過大な負担を残さないために | 秋山 鈴明 |

3人6件

定例会一般質問通告書

令和6年第2回上関町議会定例会（6月）

| ◆質問者1 清水 康 博 | |
|-------------------------|--|
| 質問事項 | 質問要旨 |
| 上関町に中間貯蔵施設が本当に必要か検証を | ①六ヶ所再処理工場が予想通り完成し、運転が開始された場合、中国電力の抱える島根原発の使用済核燃料は六ヶ所再処理工場へ運ばれ処理される。わざわざ上関町へ中間貯蔵施設を建設する必要はないと考えるが、町長のお考えは。 ②六ヶ所再処理工場はこれまで約30年に渡り、26回も完成予定を延期している。今後さらに完成が延期されることも十分考えられるが、完成が延期されることを想定しての上関町への中間貯蔵施設設置の計画であるのではないかと懸念する。町長の考えは。 |
| 上関町出身者のUターンを増やす取り組みについて | ①今後の移住定住対策として、上関町出身者のUターン促進も必要なことと考えるが、町長のお考えは。 ②Uターン者への支援に特化した新事業や、既存事業の範囲拡大（移住支援金や空き家改修助成事業など）は検討されているでしょうか。 |
| ◆質問者2 山戸 孝 | |
| 質問事項 | 質問要旨 |
| 紙の健康保険証の廃止、町民への影響を最小限に | 従来の紙の健康保険証は今年の12月2日に廃止となり、マイナンバーカードと一体化した形で運用されることが決定されています。そのため現在の制度上予測される懸念としては、今夏交付される従来の保険証を紛失した場合、12月2日以降は再発行ができないことや、マイナンバーカードを保険証として登録されている方には資格確認書は交付されないこと、12月2日以降に転居や世帯主の変更など住民票の情報に変 |

| | |
|----------------------------------|---|
| | <p>更が生じた場合は従来の保険証は失効してしまうことなどがあります。制度の変更については町民への周知とともに、特に高齢者を中心に、混乱が生じないようケースに応じたスムーズな対応を想定検討していくことが必要と考えますが、町の考えをお尋ねします。</p> |
| <p>中間貯蔵施設計画、町民への説明責任をどう果たすのか</p> | <p>昨年8月以降、本町における中間貯蔵施設計画にはいまだに町民への説明や情報提供がしっかりとなされていないのが現状です。今の時点でも町民へ説明できること、説明すべきことはあるはずですが。昨年8月の中国電力からの申し入れの詳細、町長が調査に同意した理由、そもそもなぜ町長が中国電力に地域振興策を求めたのかなどについて、報道などを通してではなく、町長が直接町民へ説明や情報を提供し、意見交換をすることは考えておられないのでしょうか。町民にきちんと向き合う姿勢を目に見える形で示し、説明責任を果たすべきと考えますが、町長の考えをお尋ねします。</p> |
| <p>◆質問者3 秋山 鈴 明</p> | |
| <p>質問事項</p> | <p>質問要旨</p> |
| <p>定住対策のビジョン</p> | <p>より定住促進を強化するためには、より勢力的に効果のある新たな手を打っていくべきと考えます。財源確保のための定住促進でもありますので、財源が貧しくてもできることから取り組んでいく必要があります。あらためて今後の定住対策の具体的なビジョンをお聞かせください。</p> |

将来世代へ過大な負担を残さないために

①財政規模の縮小、つまり、公共施設の削減、住民サービスの縮小、という難題について真剣に考えていきたいというご答弁でしたが、住民とどう協議を行い、あるいはどう総合計画に盛り込んでいくのか、具体的なプランをお尋ねします。

②財政規模縮小の必要性に迫られる一方、現在診療所の設計段階と思いますが、今後人口減が確実視され、現役世代へのサービスと一方で将来世代にとって資産過多にならないように世代間バランスを考慮しなければいけないなか、診療所をどのように設計されるのか、お聞かせください。